

## 編集後記

生活科学研究所紀要「生活科学研究」第40集には、14編の論文と7編の研究ノート  
の計21編を掲載することができました。今年度も多くのご投稿をいただきました。  
執筆者の方々ならびに本誌の作成に携わってくださった皆様に深く感謝申し上げます。  
生活科学研究編集委員会では、次号第41集に向けてさらに投稿規程を改定し、  
今後も本誌のより一層の改良を重ねていく予定であります。ご理解、協力の程どうぞ  
よろしくお願いいたします。

さて、本年度、第一回「文教大学生生活科学研究所水島恵一賞」が村上純一氏に授賞  
されました。この賞は、生活科学に関する優れた研究論文を、本研究所紀要に第一著  
者として発表した若手研究者に授与されるものです。村上氏を第一著者とする“被災  
地の「レジリエンス」を喚起する施設・空間に関する考察—東日本大震災被災地の事  
例から—”は、震災伝承の施設・空間が復興に果たす役割について実際に現場に赴い  
て検討した意欲的な論文であり、本誌の巻頭論文として掲載されております。村上氏  
にはお祝い申し上げるとともに、ご研究のさらなる発展を期待しております。

また、永きに渡って人間科学部助手・生活科学研究所研究員を務めてくださった佐  
藤ひろみさんが、本年度末を持ちましてめでたくご定年退職をお迎えになられます。  
佐藤さんは、現在の生活科学研究所の設立される以前、研究部と呼ばれていた1978  
年から40年に渡って生活科学研究所を支えてくださいました。本誌の発行には第1  
集から第40集まで携わっていただきました。生活科学研究所のすべてを知る佐藤さ  
んには、まだまだご教示いただきたいことが沢山あり名残惜しい限りですが、これま  
での様々なご功労に敬意を表し深く感謝申し上げますとともに、今後のご活躍とご健勝  
をお祈り致します。

生活科学研究所 研究部主任 鎌田晶子